61 20 ... バッテリー交換に関するヒント

バッテリーは取付け位置に、各車両の出力要求に対応するために設計されている。この個々の出力要求は、エンジンおよび個々の装備によって異なる。個別に配備されたバッテリーは、ボード エレクトリック システムの出力要求とバッテリーの耐用年数および重量のバランスが最適にとられている。

MSA(エンジン自動スタートストップ)搭載車、あるいは特定の仕様のエンジンおよびオプション装備品が搭載されてる場合、特別なバッテリー(AGM バッテリー)が装備されている。これは、このタイプのバッテリーのみが、期待耐用年数にわたり高い出力要求に対応しているためである。これとは別のバッテリーを取り付けると、車両エレクトロニクスに不具合が生じたり、機能が低下したり、あるいはバッテリー液が排出されるおそれがある。

ラゲッジ ルーム内にバッテリーが装備されている車両の場合、事故の際にはエアバッグ作動により自動的にバッテリーと着火式スターター間の電気接続が遮断される。これによりショートが防止される。

これらのコンフォート機能およびセイフティ機能が正しく機能するためには、仕様に準拠していること、そしてエネルギー管理(IBS、パワー モジュール)装備車ではバッテリーが車両に正しく登録されていることが前提となる。

エネルギー管理(IBS、パワー モジュール)装備車の場合: バッテリー交換を登録する。

車両エレクトリカル システムには、タイプ、容量、使用年数および現在の残容量などのバッテリー識別データが登録されている。そのため、常に現在の状態で供給可能な容量範囲のみが使用される。

残容量が定義された最低レベルを下回ると、バッテリー交換が必要であることを示すチェック コントロール メッセージが表示されます。

新しいバッテリーを取り付ける際には、バッテリーの登録を行い、それによって車両エレクトリカル システムに認識されるようにすること。

ヒント：

> この再登録/ログインによってのみ、対応のチェック コントロール メッセージが消えます。

診断システム：

バッテリー交換を記録する

- サービス機能
- ボディ
- 電圧供給
- バッテリー交換を記録する

後装備の際には、より大容量のバッテリーを使用できる。標準バッテリーは原則として、同じ規格に相当する AGM バッテリーと交換できる。

これとは異なるバッテリー容量またはバッテリータイプを取り付ける場合は、その仕様を車両データにプログラミングする必要がある。

プログラミング システム：

- バッテリーの後装備